群馬県立尾瀬高等学校

令和6年度 DXハイスクール(高等学校DX加速化推進事業)

目 的

「尾瀬高校ならではのハイブリッド型のデジタル人材育成」

- ①特色ある教育や地域特性を活かし、卒業後も多様な分野で活躍できる人材を育成
- ②生徒主体の「地域との連携」、「体験型教育活動」を軸にし、デジタル技術を導入
- ③学校設定科目を中心に「情報Ⅱ」で取り扱う学習内容を取り入れる

令和6年度 7つの取り組み



デジタルラボスペースの整備

(普通科、自然環境科それぞれの特色を踏まえ、2カ所整備)

高性能パソコン(4台)

電子黒板(2台)

高照度プロジェクタ(2台) モバイルプロジェクタ(2台)

高性能ドローン(1台) 360度カメラ(2台)



VRゴーグル(3台)

タブレット端末(1台)

2

ビッグデータを活用した尾瀬地域の人流解析

「人流データ」を用いて、利根沼田地域の 実態と課題を把握する

○KDDI㈱と連携

OKDDI Location Analyzer (KLA) を用いて 位置情報サービズを基にした人流データの解析

○利根沼田地域の人流の特性を調べ、

地域の課題解決を目指す --

○普通科経営情報コース「情報処理」として実施

尾瀬高校魅力発信プロジェクト

情報デザインを重視したロゴの作成と、 多数のプロを前にしたプレゼンテーション

- ○高崎商科大学と連携
- ○多様な外部講師とともに 「魅力発信」の意義を学び、 ロゴの創作活動を実施
- ○普通科2年「総合的な探究の時間 で実施



尾瀬地域の自然環境をデジタル技術で伝える



デジタル技術を活用し、尾瀬地域の豊かな 自然環境を他者に伝える

○三陽技術コンサルタンツ㈱と連携

○360度カメラを用いた動画撮影 (普遍 PCR)、 VRゴーグルの活用を学習

○尾瀬や玉原高原(沼田市)の 豊かな自然環境を現地で撮影

○効果的に伝えるための「秘訣」や『工夫

○自然環境科「総合尾瀬」(学校設定科目)で実施



「尾瀬サマースクール」尾瀬×AI×英語



6

AIと英語を活用し、尾瀬の魅力向上や 課題解決を目指す

○㈱steAm、東武トップツアーズと連携

○AIの基礎を学習し、chatGPTのFine tuningを体験

○尾瀬に関するチャットボット開発、 木道の破損状況診断(画像認識) などを構想

○夏季休業期間に課外活動として実施

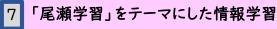


尾瀬の課題であるニホンジカについて、

正確な個体数等、生態を把握する

5 ドローンを活用した尾瀬ヶ原の野生動物調査

- ○福島大学食農学類(th 研究室)と連携
- ○夜間にドローンを飛行させ、 尾瀬ヶ原(全体または一部)を撮影
- ○画像認識技術(YOLOV8)を用い、撮影画像を 解析し、シカの生息場所を把握。
- ○旧来のライトセンサス調査との比較検証を
- ○夏季休業期間に課外活動として





情報関連技術を活かして「尾瀬学習」(尾瀬 を題材にした環境学習)をよりよくする

- ○運営協議委員(コミュニティ・スクール)による指導
- ○「尾瀬学習」をテーマにしたwebサイト作成
- ○自然環境科「総合尾瀬」(学校設定科目)で実施